

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 改革推進課  
 担当名: A I 推進担当  
 内線: 2441

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B22	スマート社会へ向けたAI事業費		一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	なし		宣言項目			
					分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上		
1 事業概要			5 事業説明					
AI・データを有効活用して県民サービスの向上や業務の効率化、産業振興を図りスマート社会を目指す。 (1) データ活用事業 (2) ヘルプデスクAI事業 △14,398千円 (3) オープンデータ化推進事業 △5,605千円 (4) 県民向け問合せAI構築事業 △51,067千円 委託内容の見直しによる執行残 契約差金による執行残			(1) 事業内容 ア データ活用事業 9,485千円 イ ヘルプデスクAI事業 [(7) AIサービス運用 2,093千円 (イ)業務追加13,530千円] 15,623千円 ウ オープンデータ化推進事業 13,280千円 エ 県民向け問合せAI構築事業 84,118千円 (2) 事業計画 ア ・県民・民間事業者のニーズの高い情報についてオープンデータ化を推進する。 ・各種統計資料や各種台帳、事務処理手引の情報の電子データ化支援を行う。 イ 職員向けの業務システム等の問合せ窓口であるヘルプデスクAIを運用、業務拡大を行う。 ウ 県内市町村データを含む一覧表示機能、検索機能等の利便性に考慮したデータカタログシステムの運用、セキュリティパッチの適用、システム改修等を実施する。 エ 利用者がパソコンやスマホ、タブレットから県のサイトにアクセスして、質問を入力すると、AIが適した回答を返すシステムを構築する。 (3) 事業効果 ア 庁内の様々な分野でAI・データを活用した事業化が進み、業務の効率化や県民サービスの向上、産業振興が図られる。 イ 電話対応の対象外であった時間帯にも対応可能となるほか、繁忙期にもつながりやすくなり、利便性の向上が図られる。 ウ 情報を二次利用しやすい形式で公開することで、地域経済活性化、県民の利便性向上が図られる。 エ 時間を気にせずいつでも対応できる窓口を設置し、スマホ・タブレットなど利用者が使いやすい環境から、問合せできるようになる。 (4) 補正予算の概要 イ ヘルプデスクAIに関する委託内容の見直しによる執行残 ウ データカタログシステムに関する委託内容の見直しによる執行残 エ 県民間問合せAI構築業務の契約差金による執行残					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△71,070						△71,070	51,436
現計額	122,506						122,506	